

大学生の就職内定率、 「就職氷河期」を下回る80.0% 前年同期比で6.3ポイント低下

旺文社 教育情報センター 平成22年3月

文部科学省(以下、文科省)および厚生労働省(以下、厚労省)はこの程、大学・短大等の就職内定状況を発表した。それによると、今春卒業予定で就職を希望している大学生の就職内定率(以下、内定率)は、平成22年2月1日現在で80.0%(前年同期比6.3ポイント低下)。依然として、極めて厳しい状況であることが判明した。

概況

● 就職氷河期を下回り、過去最低

大学生の内定率は、“就職氷河期”といわれた11年度81.6%、12年度82.3%、15年度82.1%を下回り、2月1日現在の調査を始めた11年度以降、過去最低を記録した。一昨年秋のリーマン・ショックに端を発した金融危機による景気動向の影響を受け、急速に悪化した。また、短大女子も内定率67.3%、前年同期比-8.5ポイントで大幅に低下した。

● 内訳

大学生の内定率を男女別にみると、男子は80.1%(前年同期比-6.4ポイント)、女子は79.9%(同-6.3ポイント)。文理別では、文系が78.7%(同-7.3ポイント)に対し理系は86.2%(同-1.9ポイント)。私立女子76.2%(同-8.2ポイント)、私立文系77.0%(同-7.8ポイント)のダウンが大きい。設置者別では、国公立が86.9%(同-3.3ポイント)、私立が77.6%(同-7.5ポイント)と、国公立と私立の内定率の差は、昨年の5.1ポイントから9.3ポイントに広がった。地域別では、九州地区が最も低く75.2%(同-8.1ポイント)。また、中部地区は77.3%(同-10.7ポイント)と最も大きく低下した。関東地区82.6%(同-6.0ポイント)、近畿地区81.6%(同-6.2ポイント)など、全国的に悪化した。

文科省は、「新規学卒者の雇用環境は、依然として大変厳しい状況にあり、平成21年度予算による『大学教育・学生支援推進事業』(400件)に加えて、平成21年度補正予算により、就職相談員(キャリアカウンセラー等)の配置促進など、各大学等の就職相談体制の強化のための取組(65件)を支援している。更に、大学等に対し、①大卒就職ジョブサポーターと連携協力を図ること、②厚労省の未就職卒業者に対する新卒者体験雇用事業や職業訓練の活用、経済産業省がまとめた『雇用創出企業』リストの活用を未内定学生等に促すこと、③卒業の際、未就職であったり、非正規雇用となった学生に対し、可能な限り、就職情報の提供や就職相談等の支援に努めることなど、きめ細やかな対応を要請している。また、全ての大学等において、教育課程の内外を通じた社会的・職業的自立に関する指導等に取り組むこととし、そのための全学的な実施体制を整備するため、大学設置基準等を平成22年2月に改正(平成23年4月1日施行)するとともに、平成22年度予算案では、学生の就業力育成のための大学等の取組を支援(30億円)することとしている」と、支援対策を発表した。今後の動向に引き続き注意していきたい。

<文科省・厚労省の調査概要>

○調査依頼先

設置者・地域の別等を考慮し、文科省・厚労省において抽出。大学 62 校（国立 21 校、公立 3 校、私立 38 校）、短大 20 校、高等専門学校 10 校、専修学校 20 校、合計 112 校。

○調査対象人員

大学・短大・高等専門学校……計 5,690 人、専修学校……560 人、計 6,250 人

○調査方法・内容

各大学等において、所定の調査対象学生を抽出した後、電話・面接等の方法により、性別、就職希望の有無、内定状況につき調査を実施。

○調査時期

平成 21 年 10 月 1 日、12 月 1 日、22 年 2 月 1 日、4 月 1 日の 4 回実施

平成 21 年度

大学・短大・高等専門学校卒業予定者の就職内定状況調査（平成 22 年 2 月 1 日現在）

*調査対象＝大学 62 校、短大 20 校、高等専門学校 10 校の計 92 校

*就職内定率＝就職希望者に対する現時点での内定者の割合。

*前年度就職率＝平成 21 年 4 月 1 日現在調査の前年度卒業学生の就職率。

*カッコ内は前年度同期調査からの変動値（ポイント：▲は低下）。

[全 体]

区 分	就職希望率	就職内定率	前年度就職率
大 学	72.1% (▲2.1)	80.0% (▲6.3)	95.7%
国公立	55.8% (2.3)	86.9% (▲3.3)	96.6%
私 立	80.2% (▲4.2)	77.6% (▲7.5)	95.4%
短期大学	77.1% (▲2.3)	67.3% (▲8.5)	94.5%
高等専門学校	56.3% (3.8)	97.3% (▲1.7)	100.0%
合 計	71.4% (▲1.7)	79.7% (▲6.2)	95.8%

[男 子]

区 分	就職希望率	就職内定率	前年度就職率
大 学	66.5% (▲2.4)	80.1% (▲6.4)	95.9%
国公立	47.2% (2.3)	84.0% (▲5.2)	96.6%
私 立	76.8% (▲4.9)	78.8% (▲6.9)	95.7%
高等専門学校	56.3% (3.8)	97.3% (▲1.7)	100.0%
合 計	65.2% (▲1.6)	81.9% (▲5.9)	96.3%

[女 子]

区 分	就職希望率	就職内定率	前年度就職率
大 学	79.9% (▲1.6)	79.9% (▲6.3)	95.4%
国公立	69.3% (2.1)	90.1% (▲1.1)	96.5%
私 立	84.6% (▲3.3)	76.2% (▲8.2)	95.1%
短期大学	77.1% (▲2.3)	67.3% (▲8.5)	94.5%
合 計	79.3% (▲1.8)	77.4% (▲6.7)	95.3%

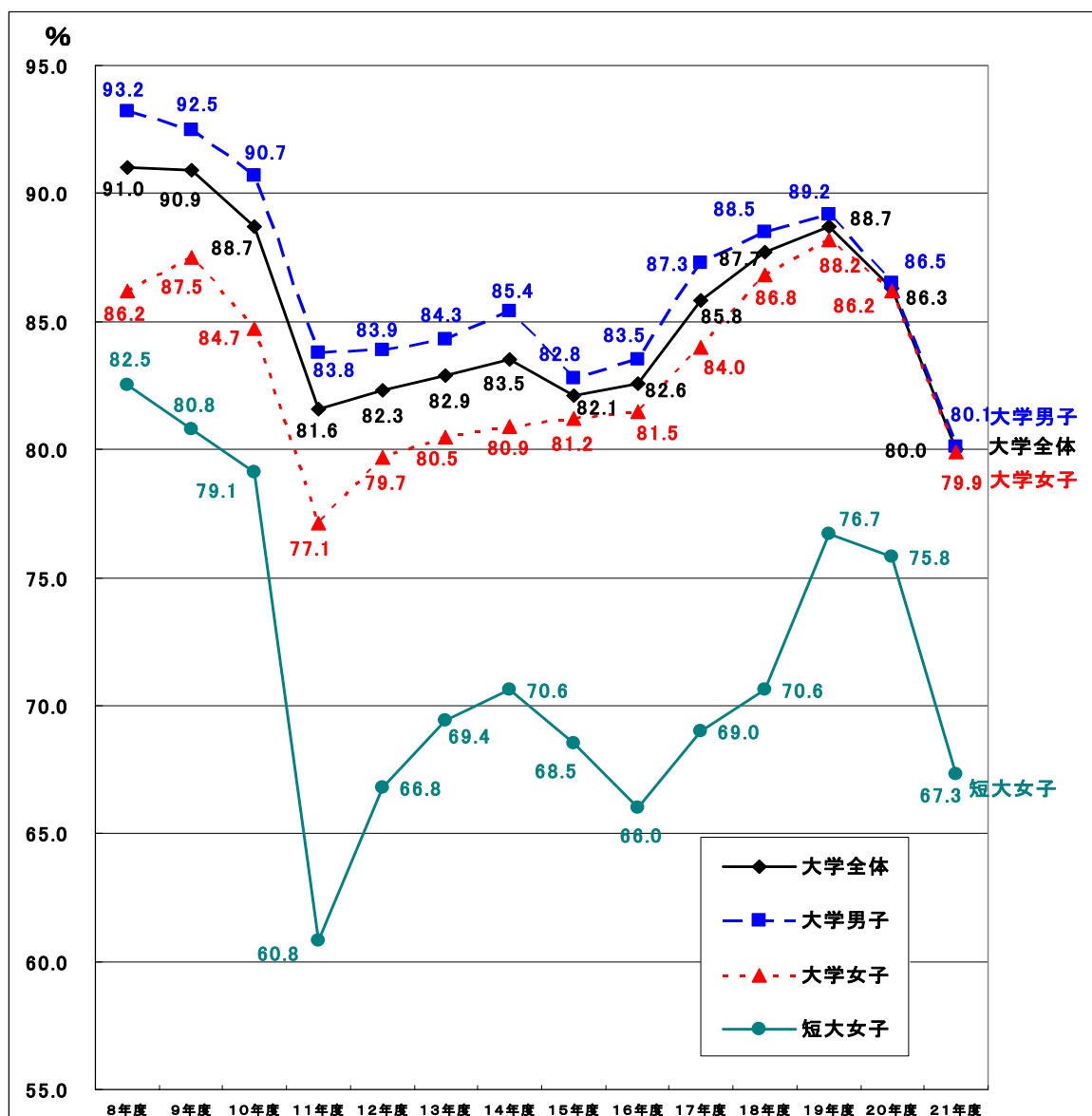
[大学：文理別就職内定率]

区分	文系	理系
大学	78.7% (▲7.3)	86.2% (▲1.9)
国公立	84.9% (▲6.0)	91.0% (▲2.2)
私立	77.0% (▲7.8)	81.7% (▲5.8)

[大学：地域別就職内定状況]

地域	就職内定率	地域	就職内定率
北海道・東北	77.8% (▲1.2)	近畿	81.6% (▲6.2)
関東	82.6% (▲6.0)	中国・四国	77.4% (▲5.9)
中部	77.3% (▲10.7)	九州	75.2% (▲8.1)

◆ 大学・短大卒業予定者の就職内定率（平成22年2月1日現在）の推移◆（図1）



※平成11年度から、2月1日現在の調査を実施。（平成8年度から平成10年度まで、3月1日現在の調査）